

いきいき新聞

5月号

地域づくり特集③ 田邑まちづくり活性化協議会

つなげ 魅力！ 人と和を創る田邑

地域運営組織は地域づくりの一つの手法として全国で注目されています。津山でも12の地域で取り組まれています。

田邑まちづくり活性化協議会は、平成28年度に設立され今年度で4年目になります。平成28年度はまず最初に「地域づくりはなぜ必要？」ということ

と田邑の良さをPRできる「田邑愛」の取り組みがスタートしました。

今年度から田邑地域の取り組みは次のステージに進むよう、「5年後の田邑がこうなっていたらいいな」と長期計画と組織図について協議会で話し

合いをしています。

田邑地域のスローガンは、田邑の魅力を発見の「魅力づくり」、多世代の交流の「交流つながり」、防犯・防災・生活の困り事の「安全安心」を中心に取り組み想いを込めて「つなげ魅力！人



田邑まちづくり
活性化協議会のみなさん

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600

テントカフェで賑わう田邑

「テントカフェ」は、子どもからお年寄りまで誰でも寄って交流したり体験できる田邑地域主催のカフェのことです。

平成29年度からスタートしたテントカフェは、これまでに7回開催され、その内容はさまざまです。お飾り作

り編、地域の方お手製の木で作ったピザ窯やダンボール窯を使ってピザを焼く編、田邑在住の「文ちゃん一座」が腹話術を披露する編、田邑産十割蕎麦打ち体験編、そうめん流し編、布草履をつくる編等地域の方が一生懸命企画しています。奮

うご期待！



地域×幼稚園で流しそうめん



田邑ええとこ写真展



蕎麦打ち体験×語り部

矢筈山登山の記録

晴天にめぐまれ38名が参加

大型連休中の5月4日（土）矢筈山（やはずやま）登山会に参加してきました。天候にも恵まれ最高の登山日和となり、参加者は38名でした。9時集合で保存会の皆さんが温かく出迎えてくださり、登山がスタートしました。途中途中で保存会4名のスタッフから説明を受けながら登って



山シャクヤク

きました。

今回のルートは矢筈神社（矢筈城主の信仰が最も厚かった神社）から登り、美作河合駅へ向けて下山するコースです。しばらく急な上り坂が続き、途中尾

根沿いで平地もあり景色もよく爽やかな風が吹いていました。登り進めていくと「山シャクヤク」が群生し、今季節しか見えない白い花の前で参加者の皆さんは足を止めカメラに収めていました。三の丸、二の丸と続き山頂に約2時間で到着。360度の展望で大ケ山、桜尾山、那岐連峰が一望でき疲れも吹き



山頂でパシャリ！

お知らせ

■センターからお知らせ
①6月22日（土）の開館時間がセンター主催の講座のため、8時30分～17時30分の変更になります。大変ご迷惑をお掛け致します。

②プレパークの勉強会「備前プレパークの会代表 北口ひろみさんとゆんたくする会」を開

催します。（※ゆんたくとは沖縄の方言で「おしやべり」の意味）○子ども

の居場所や親子の居場所について北口さんとお

しやべりしませんか？
日時…5月31日（金）13時～15時
場所…当センター
参加費…おひとり500円
問い合わせ先…津山市地域づくりサポートセンター ☎27-0600

■城西まちの駅
営業時間…9時～17時

地域づくりのヒント集③

地域づくりのモデルとして有名な「やねだん」。鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落で、行政に頼らない自主財源で地域おこしに取り組んでいる中山間地域の集落の通称です。平成30年度ふるさとづくり大賞優秀賞を受賞され、「行政に頼らず、住民自治で地域を再生。基本は住民総出で稼ぐ自主財源」が評価されました。

リーダーの前に人間力
企画力、演出力、財務力を持ち、オーラの光輝く人間力は鬼に金棒。地域で奇跡を起こすには、民間でも役所でも強烈な人材が不可欠です。特に地方自治体で大事なものは、若者たちの芽を「つぶさないこと」、若い世代の力を存分に発揮できる環境をつくり続けることです。忘れてはならないのは、組織で運営すること。

リーダーは利己的より、「利他的」に。自分の利益より他人を優先。民ありて、己ありの精神で前人未到の歴史を情熱で楽しく続けることです。終わり
出典…（一社）地域活性化センター発行「地域づくり特集編4月号」※いきいき新聞3月号ヒント集①を掲載しています。合わせてご拝読ください。